

スポーツ推進委員だより

Vol.77

年2回発行

●発行:令和4年9月 ●発行者:岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会 ●編集:広報部 ●事務局:058-214-2370

岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会 会長挨拶



会長 神山 悟

みなさま方におかれましては、日頃より岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会の活動に対し、深いご理解、ご協力を賜るとともに、本協議会および岐阜市主催のスポーツ行事にご参加いただき、誠にありがとうございます。

さて、我々スポーツ推進委員は、令和4年4月より新たな2年間の任期がスタートしました。前任の2年間は、ご存知の通り新型コロナウイルス感染症の影響により思うように活動ができませんでした。

今年度も感染拡大防止対策を確実に実施しながら、日常生活や社会経済活動を継続していくという政府の方針に沿って、可能な限り運動やスポーツが楽しめる機会を創出するため、昨年度に本協議会で実施した新型コロナウイルス感染防止対策研修会で培った知識や経験を活かし、活動してまいります。

振り返りますと、昨年の夏には東京2020オリンピック・パラリンピック、冬には北京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手たちの活躍は、コロナ禍においても世界中に多くの感動と勇気を与え、改めてスポーツの持つ力を実感するとともに、スポーツをすることへの機運もさらに高まりました。

しかし、依然として、新型コロナウイルス感染症については警戒が必要です。今後も感染状況や社会情勢を注視しながら、本協議会は、新たな岐阜県統一研究テーマでもあります「いつまでも健康と生きがいを得られるぎふへ【どこでも・いつでも・だれとでも】」を主題に活動していきたいと思っております。

最後に、市民のみなさまが安全に安心してスポーツに親しめる環境づくりに岐阜市スポーツ推進委員一同励んでまいりますので、引き続き、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会 後期事業予定

10月	22日(土) ●岐南町 岐阜地区(後期)スポーツ推進委員研修会	2月	3日(金) ●愛知県 岡崎市 第70回東海四県スポーツ推進委員研究大会
11月	17日(木)～18日(金) ●滋賀県 草津市 第63回全国スポーツ推進委員研究協議会		19日(日) ●岐阜市内体育館 体育館デー ※ファミリーパーク体育館を除く
12月	17日(土) ●各務原市 岐阜県スポーツ推進委員研究大会	3月	11日(土) ●岐阜市役所 大会議室 第3回岐阜市スポーツ推進委員全体研修会
1月	9日(月・祝) ●長良川競技場周辺 第71回新春ぎふシティマラソン		21日(火・祝) ●ファミリーパーク体育館 体育館デー

第1回岐阜市スポーツ推進委員全体研修会

■開催日：令和4年6月11日（土） ■場所：北部体育館

6月11日（土）、北部体育館において岐阜市スポーツ推進委員全体研修会が開催されました。第1回目の今回は、初めに今年度の活動予定を部会ごとに発表しました。

続いて、翌日に行われる第43回岐阜市スポーツ・レクリエーション祭「ふらばーるバレーボール体験・交流祭」に向けて、スポーツ推進委員の方々にふらばーるバレーボールがどんな競技なのかを知ってもらうために、デモンストレーションを行いました。

ふらばーるバレーボールは、岐阜市が普及しているどなたでも気軽に参加できるスポーツです。楽しく、元気になることが体験した人の声で、年配のスポーツ推進委員の方々もすぐ競技に夢になって、勝敗にこだわるほどの頑張りでした。

みなさまも機会がありましたら、ふらばーるバレーボールをぜひ体験してみてください。

【ふらばーるバレーボールの特徴】

- ・バドミントンダブルス用コートを使用し、ネットの高さは1m55cm
- ・コート内には1チーム5人の選手が入り、最大7名でローテーションを行う
- ・直径43cmのおむすび型のふらばーるバレーボールを使用する
- ・サーブレシーブ以外の第1打はワンバウンドさせてからしかボールに触れることができない
- ・サーブレシーブは2回から3回で返球し、それ以外は3回以内で返球する

（加納東 小島）

第43回岐阜市スポーツ・レクリエーション祭 ふらばーるバレーボール体験・交流祭

■開催日：令和4年6月12日（日） ■場所：北部体育館

6月12日（日）に北部体育館にて「ふらばーるバレーボール体験・交流祭」が開催され、各地域から11チームとスポーツ推進委員から4チームの計15チームが参加しました。

3つのコートを使用し、5チームずつに分かれて、コートごとに順位を競い合いました。ビーチボールより一回り大きいおむすび型のボールを使っの試合です。

サーブレシーブ以外の相手からの返球は、ボールが床にワンバウンドしてから触れるルールです。今回初めて経験した方は、頭では分かっているも反射的に手が出てしまう様です。

変型したボールなので予想外の方向へ飛んだり跳ねたりしますが、楽しいスポーツです。

【大会結果】

（鏡島 大生）

順位	Aコート	Bコート	Cコート
優勝	特種東海製紙	方県体育振興会	鷺山
準優勝	合渡	本荘	スポーツ推進委員D
3位	さくら	スポーツ推進委員B	七郷体育振興会



第 43 回岐阜市スポーツ・レクリエーション祭

第 20 回 FIAT 6 CUP(健康ソフティーバレーボール大会)

■開催日：令和 4 年 5 月 2 9 日（日）

■場所：北西部体育館、北部体育館、総合体育館、南部スポーツセンター

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった、第 43 回岐阜市スポーツ・レクリエーション祭「第 20 回 FIAT 6 CUP(健康ソフティーバレーボール大会)」が開催されました。34 チームが V1 リーグから V4 リーグの 4 つの会場に分かれて参加し、各リーグで熱戦が繰り広げられました。試合後には、ボールが当たるじゃんけん大会もあり、盛り上がりしました。

私は、スポーツ推進委員チームの一員として V4 リーグに参加しました。結果は 5 位という順位で終わりましたが、どのチームもよくボールを拾い繋げ、まとまりのあるチームでした。

初めての方でも気軽に参加いただける生涯スポーツです。ぜひ地域のスポーツ推進委員と一緒に始めてみませんか。

【大会結果】 (西郷 袖木)

リーグ	会場	チーム数	優勝・準優勝チーム	
V1	北西部体育館	8 チーム	優勝：ビッキーズ	準優勝：リベロ
V2	北部体育館	8 チーム	優勝：オールド・パー	準優勝：チェリー
V3	総合体育館	8 チーム	優勝：島ホクト	準優勝：ミワ.V.C
V4	南部スポーツセンター	10 チーム	優勝(Aコート)：日野マヨケース	優勝(Bコート)：Shocker's

岐阜市健康ソフティーバレーボール審判員資格認定試験

■開催日：令和 4 年 6 月 2 6 日（日） ■場所：北部体育館

令和 2 年 1 月を最後に新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた審判員資格認定試験が、6 月 26 日(日)に北部体育館で開催されました。

審判員資格認定試験は、岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会が開催している「FIAT CUP(健康ソフティーバレーボール大会)」の出場にあたって、審判に必要な資格を取得するための講習会で、今回は、午前の部 34 名と午後の部 15 名の計 49 名が受講しました。

講習会は、「講習・筆記試験(90 分)」と「実技講習・試験(90 分)」の計 3 時間のプログラムで構成されています。前半の「講習・筆記試験」では、健康ソフティーバレーボールの基本的なルールから審判のハンドシグナルに至るまで審判に必要な知識を教わり、最後に検定試験を実施します。後半の「実技講習・試験」では、前半の講習で学んだことを生かして、実際の試合の中で実践します。

初めて審判をするということもあり、最初は戸惑いがあったものの、試合で経験するうちに動きを把握していきました。最終的にはみなさまが審判に必要な知識と技術を習得され、49 名全員が合格いたしました。

(西郷 袖木)



第 11 回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン

■開催日：令和4年4月24日（日） ■メイン会場：岐阜メモリアルセンター

新型コロナウイルス感染症の影響で、3年ぶりのリアル開催となった「第11回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」が、4月24日(日)に岐阜メモリアルセンター長良川競技場を発着点とするコースで開催されました。

当日は7,632名が出走し、長良川や金華山など岐阜市の美しい自然に囲まれたコースを駆け抜けました。小学生による応援メッセージやイラストの描かれたゼッケンを背中につけた人も多数みえました。

天候は曇りで、途中から雨が降りだし、あいにくのコンディションとなりました。男子は3位までが1時間を切る熱戦が繰り広げられ、アレクサンダー・ムティソ選手（NDソフト）が大会新記録の59分56秒で2度目の優勝を飾り、女子はオマレ・ドルフィンニャボケ選手（ユー・エス・イー）が1時間8分13秒で初優勝を飾りました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加ランナー全員へのPCR検査の実施やウェーブスタート回数の増加（2回から4回）、ランナーへの給水・給食（個包装）の手渡しを廃止するなど、様々な対策が講じられました。

大会の運営に関わったボランティアは合計2,104名で、我々スポーツ推進委員は、緊急車両誘導係として67名が参加しました。

（岩野田 堀田）

【大会結果】

○出場者 7,632名（第9回大会 10,370名）

○成績

＜ハーフ 男子登録の部＞

順位	氏名	所属	記録
1位	アレクサンダー・ムティソ	NDソフト	59分56秒(大会新記録)
2位	ベナード・ジチ	九電工	59分57秒(大会新記録)
3位	マニール・マル	トヨタ紡織	59分58秒(大会新記録)



＜ハーフ 女子登録の部＞

順位	氏名	所属	記録
1位	オマレ・ドルフィンニャボケ	ユー・エス・イー	1時間08分13秒
2位	シード・ダバ	オーストラリア	1時間09分00秒
3位	山口 遥	AC KITA	1時間09分50秒

